

【計画名:明日香まると博物館地域計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R2			R3			R4		R5		R6	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
宿泊客数(人)	8,000	2,738	34%	18,000	2,472	14%	20,000		22,000		24,000	
外国人宿泊客数(人)	1,000	-	-	2,500	0	0%	3,000		3,500		4,000	
観光客数(人)	780,000	384,530	49%	810,000	446,000	55%	840,000		870,000		90,000	
外国人観光客数(人)	1,000	-	-	2,000	5	0%	3,000		4,000		5,000	
来訪者の満足度(%)	43	-	-	45	-	-	50		55		60	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人宿泊客数については、新型コロナウイルス感染症の流行により、来訪が認められなかった。 来訪者の満足度を測定する観光実態調査も新型コロナウイルス感染症の流行により、実施できず、データを収集することができなかった。 新型コロナウイルス感染症の流行により、全体的に客数等が激減したものの、令和3年度は各種事業の取り組みにより、やや回復傾向にある。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の流行により、全体的に目標に大きく届いていない。

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R2	R3	事業類型毎の実績額
事業1-①	歴史文化資源調査事業	歴史文化資源の調査を実施	歴史文化資源の調査を実施	1.2百万円
事業1-②	歴史展示推進事業	歴史文化資源の展示を実施	歴史文化資源の展示を実施	
事業1-③	新時代の観光モデル創出事業	オンラインツアーを造成	-	
事業1-④	飛ぶ鳥の古代飛鳥再現プロジェクト	-	古代伎楽再現事業等を実施	
事業1-⑤	歴史文化資源の魅力増進事業	旅行商品を造成	旅行商品を造成	
事業1-⑥	プロフェッショナルガイド養成プログラム	-	検定試験準備を実施	
事業2-①	歴史文化資源周辺道路網等整備事業	ネットワーク道路の整備等を実施	ネットワーク道路の整備等を実施	0百万円
事業2-②	シームレス交通基盤整備事業	公共交通の運行等を実施	公共交通の運行等を実施	
事業3-①	明日香風体感、飛鳥の魅力再発見ツアー開発プロジェクト	-	-	1.3百万円
事業3-②	高付加価値商品の造成事業	-	旅行商品を造成	
事業3-③	新たな滞在型観光地基盤整備事業	-	-	
事業3-④	SDGsと総合的探求学習プログラムの確立による教育旅行及び企業研修	-	-	
事業4-①	観光活性化事業	戦略的な魅力発信等を実施	戦略的な魅力発信等を実施	0百万円
事業4-②	飛鳥の魅力発信事業	講演会等を実施	講演会等を実施	
事業4-③	飛鳥ビレッジプロモーション	-	SNS等を活用したプロモーションを実施	
事業5-①	明日香まると博物館総合整備プロジェクト	-	各種整備を実施	16.2百万円
各年度ごとの実績額→		0百万円	18.7百万円	18.7百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発注等は滞りなく遂行できており、事業についても順調に実施できている。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業は計画どおり実施できている。 一部で新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、事業内容の変更を行ったが、概ね期待される効果を得ることができた。

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	↓文化観光拠点施設名								
	飛鳥宮跡	飛鳥京跡死池	飛鳥水落遺跡	酒船石遺跡	石舞台古墳	牽牛子塚古墳	中尾山古墳	キトラ古墳	高松塚古墳
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	R4以降に実施する予定である。	現在予定している復元整備事業の進捗状況を勘案し、実施する予定である。	R3に一部実施した。	R3に一部実施した。	R4以降に実施する予定である。	R3に一部実施した。	R3に一部実施した。	R4以降に実施する予定である。	R4以降に実施する予定である。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	R4以降に実施する予定である。	現在予定している復元整備事業の進捗状況を勘案し、実施する予定である。	すでに整備済みである。	R4以降に実施する予定である。	すでに整備済みである。	R4以降に実施する予定である。	R4以降に実施する予定である。	R4以降に実施する予定である。	R4以降に実施する予定である。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	R4以降に実施する予定である。	現在予定している復元整備事業の進捗状況を勘案し、実施する予定である。	R3に一部実施した。 一部はR4以降に実施する予定である。	R3に実施する。 一部はR4以降に実施する予定である。	R4以降に実施する予定である。	R3に一部実施した。 一部はR4以降に実施する予定である。	R3に一部実施した。 一部はR4以降に実施する予定である。	R4以降に実施する予定である。	R4以降に実施する予定である。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	R3より実施している。	現在予定している復元整備事業の進捗状況を勘案し、実施する予定である。	R3より実施している。	R3より実施している。	R3より実施している。	R3より実施している。	R3より実施している。	R3より実施している。	R3より実施している。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。	発掘調査成果に基づき、随時実施している。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びK P Iの設定・P D C Aサイクルの確立	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。	観光戦略と連携して実施している。

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

・新型コロナウイルス感染症の流行により、全体的に観光来訪者の減少が認められる中、本計画の実施により、令和3年度は令和2年度より増加傾向にあった。
 ・観光来訪者の利便性向上を目的とした事業も実施しており、特に解説板の設置や共通券システムの検討により、今後の観光運営の基盤を形成することができている。
 ・文化観光拠点施設そのものでの収益化が難しい状況の中、本計画に基づく事業を実施することにより、文化観光拠点施設に付加価値を付け、観光資源化することができ、今後さらなる収益化が見込めるようになった。(飛鳥観光協会)

⑦今後の改善の方向性

・来訪者の需要に応じた文化観光拠点施設の整備を実施する。
 ・「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界文化遺産登録を目指して、外国人観光客及び外国人宿泊客数を対象とした基盤整備を実施する。
 ・収益化を図った文化観光拠点施設のさらなる利益向上に向けた啓発やブラッシュアップを実施する。